

平成26年度決算

苦勞の黒字決算 将来

2年連続の豪雨災害・豪雪にもめげず貯金

26年度に行った主な事業

障害福祉サービス費	2億3594万円
延長保育促進事業	1780 万円
中山間地直接支払事業	8888 万円
畜産生産拡大支援事業	4426 万円
パークゴルフ場改修工事	5756 万円
除雪委託料	2億4398 万円
道路改修工事(浅立沼田線)	3447 万円
スクールバス運行委託料	1800 万円
統合中学校整備工事	3億6376 万円
災害復旧工事	4億4758 万円
急斜面砂防自然災害防止事業	3006 万円

※万円未満は端数を整理しています。

《わがまちの財政力》

区分・年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	説	明
財政力指数	0.261%	0.251%	0.244%	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。	
経常収支比率	89.0%	88.8%	92.5%	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。	
実質公債費比率	10.3%	12.0%	13.5%	収入に対する負債返済の割合。	



外は雨でも互いに負けない
熱血応援合戦

監査意見書

依然厳しい財政 適正な予算計上 に努める

平成26年度の財政状況においては、経常収支比率は昨年度から0・2ポイント上昇の89・0%と依然厳しく硬直した財政状況といえる。実質収支額はここ数年増加傾向にあり、今年度は6億円を超えている。限られた財源を有効に活用できるよう、より適正な予算計上と計画的・効率的な事務事業の執行管理に努められたい。

昨年、一昨年と2度にわたり町内各地に甚大な被害をもたらした豪雨災害を検証し、町民の安心・安全の確保に資するよう総合的かつ計画的な防災行政の推進をはかられたい。

まちづくり複合施設

整備事業においては、町民への説明をきめ細やかに理解を得たうえで、町民が利用しやすい親しまれる施設になるよう意見を反映し、省エネや環境に配慮しつつ町産材をフル活用できる整備に期待したい。

コミュニケーションセンタ―化は地域の活性化や地域づくり、産業の発展といった地域経済の循環に大いに期待が膨らむ事業である。町民が主体となって地域を盛り立てていくことがまちづくりの根幹と思われる。町民が主体的に行う事業への支援と更なる連携強化をお願いしたい。

代表監査委員

小形 安弘

監査委員

山田 仁